



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfb-japan.jp>
検証番号：CV-CK01-001

CFPの取り組みと 今後の展開方向

2012年10月20日 エコプロダクツ東北2012@仙台



株式会社 デコス

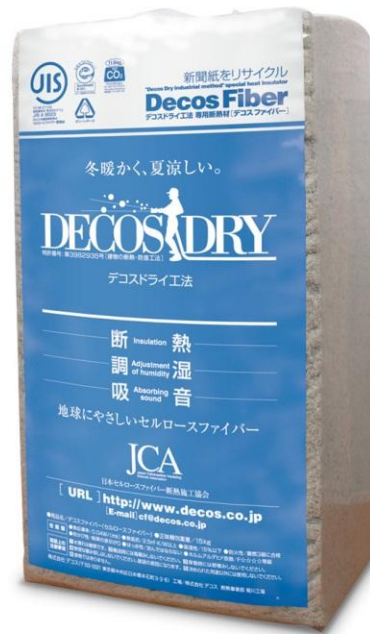
田所 憲一



Q: デコスファイバーとは？

● A: 新聞紙をリサイクルした木質繊維系断熱材「セルロースファイバー」です。

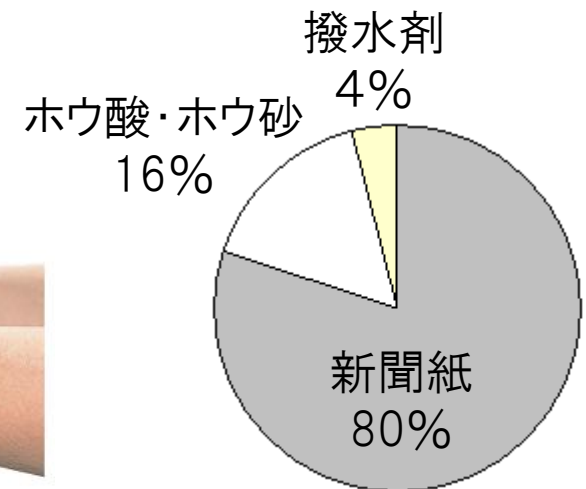
JIS A 9523 認証品。



デコスファイバー



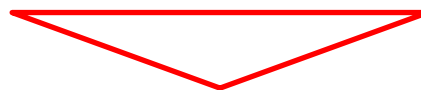
綿状の断熱材




原材料構成



断熱性能 = 断熱材品質 × 施工品質



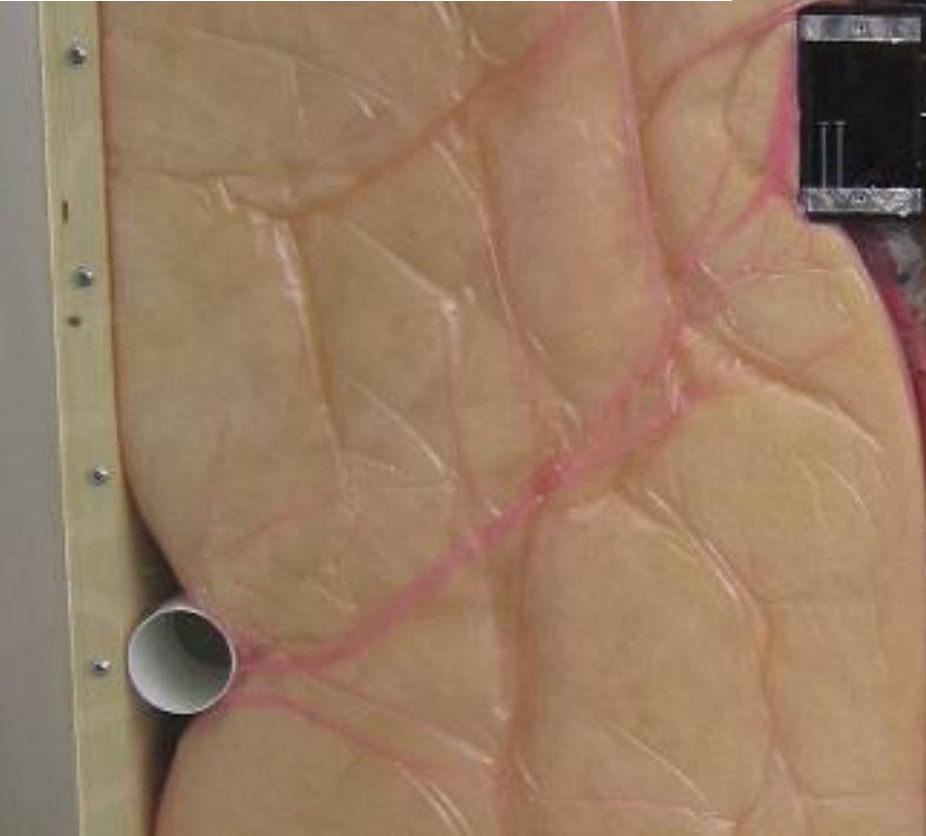
- 
- ・大工施工
 - ・専門業者施工



Q: 断熱欠損とは？

- デコスドライ工法なら隙間なく充填、断熱欠損なし。
高い断熱性能を発揮します。(親会社工務店の解決策)

GW16K100mm施工例



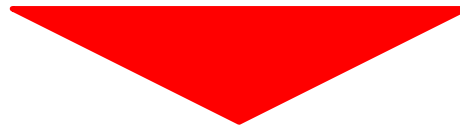
デコスドライ工法施工例



①原材料の新聞紙はリサイクル品

新聞紙は新聞紙にリサイクルするのが基本

古紙配合率は、約70%～80%(製紙メーカーによる)



原材料の新聞紙は、古紙業者^(97.5%)やNPO法人を通じて
工場地元地域^(2%)、社員から調達^(0.5%)するリサイクル品



エコマーク: 様々な商品(製品及びサービス)の中で、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられる環境ラベル。

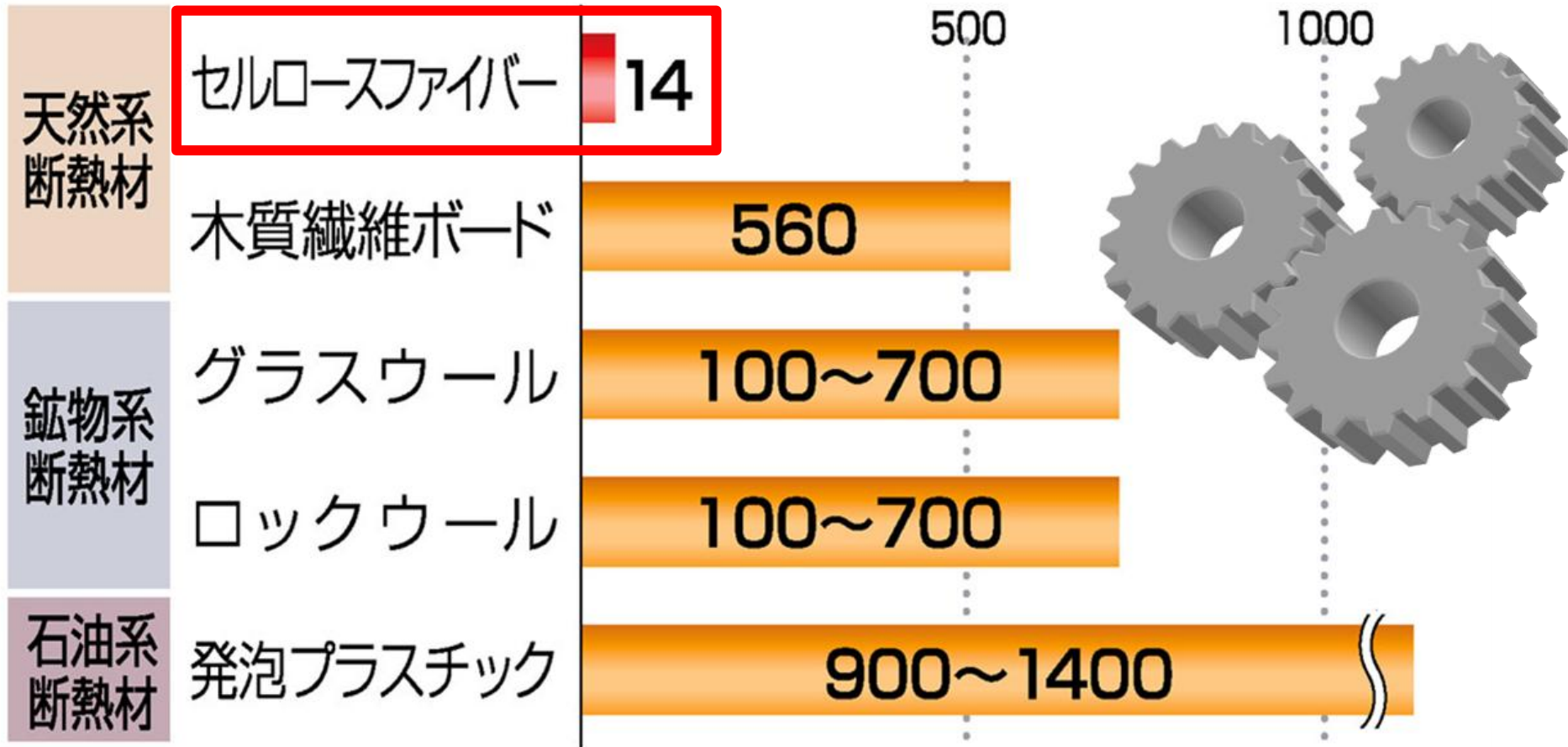


グリーンマーク: 原料に古紙を規定の割合以上利用していることを示すグリーンマークを古紙利用製品に表示することにより、古紙の利用を拡大し、紙のリサイクルの促進を図ることを目的としています。



②圧倒的に低い製造エネルギー

■断熱材の製造エネルギー(kWh/m³)



出典: 建築技術No.648



工場では水や火を使わず**電気のみで生産**。フォークリフトもバッテリー駆動。その製造エネルギーも他の断熱材に比べ非常に少ないものとなっています。また、**工場では100%リサイクルを行っており、廃棄物はゼロ**。すべてにおいて環境負荷が少ない工場となっています。



③モーダルシフト積極採用

JR貨物



平成22年度モーダルシフト優良荷主表彰
中国グリーン物流パートナーシップ会議

モーダルシフトとは？

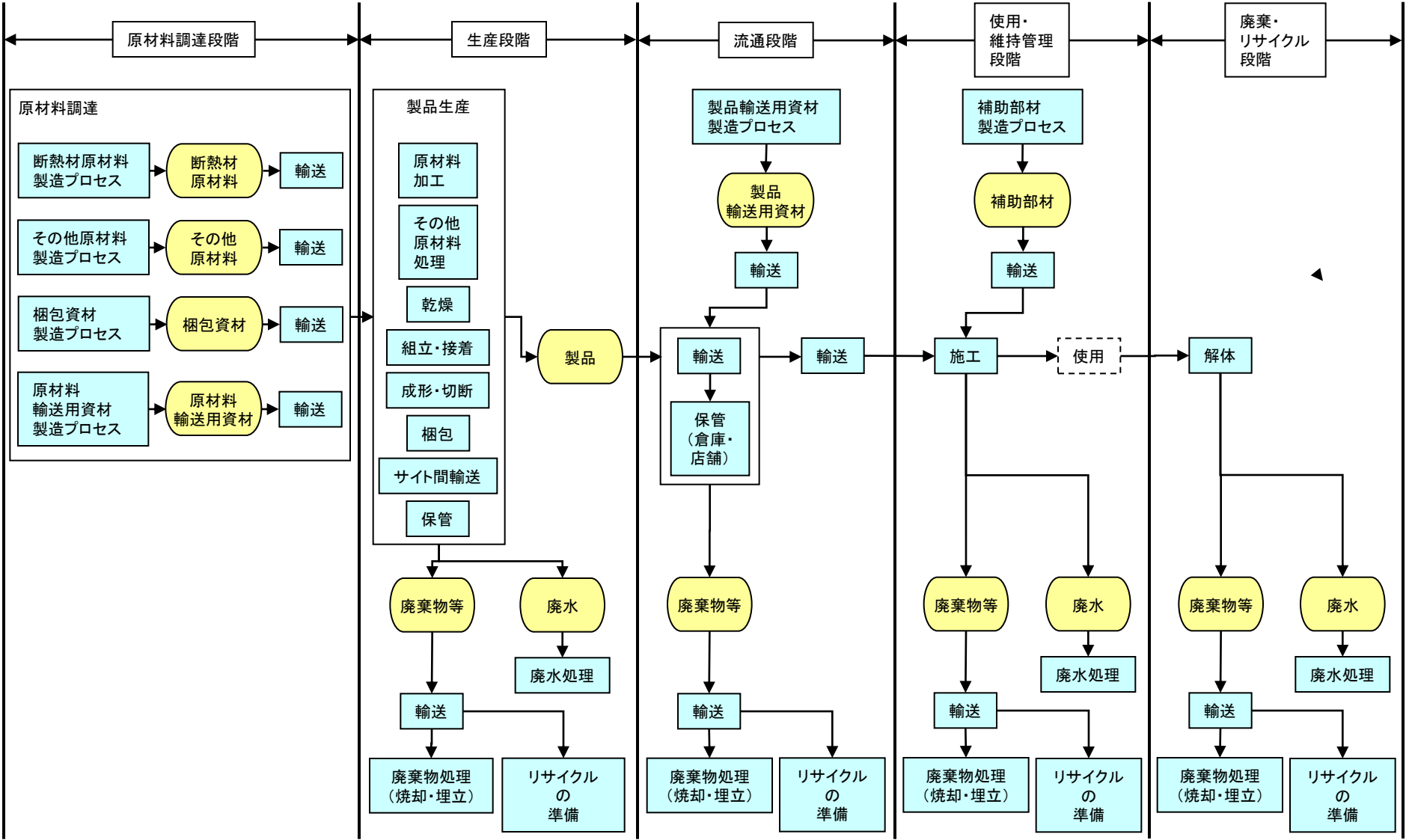
国内の貨物輸送をトラック輸送から、
大量輸送機関である**鉄道**または
海運に転換することです。



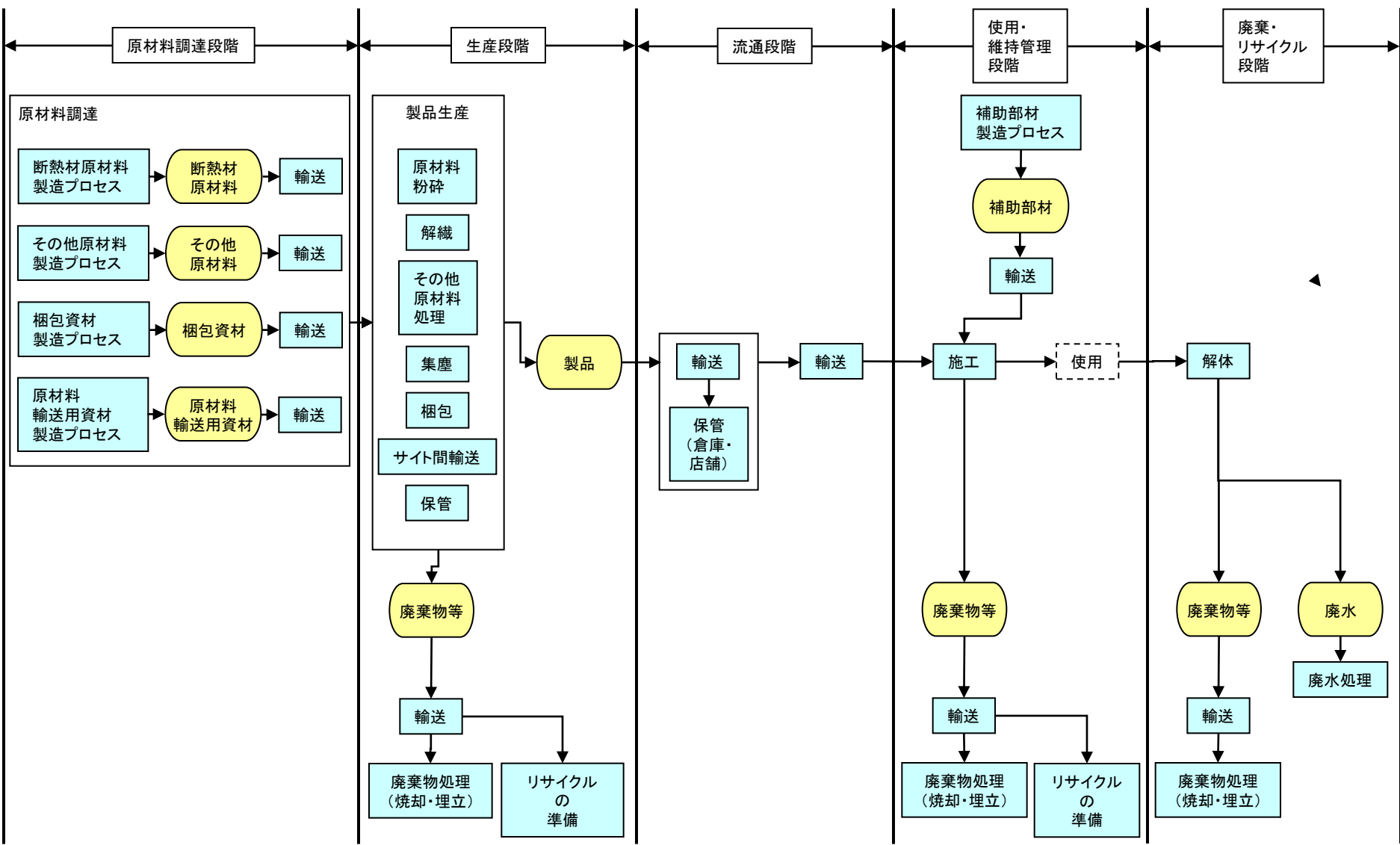
貨物輸送機関のCO2排出原単位
*貨物1トンを1km輸送するときに排出するCO2の量
(g-CO2/t.km)
資料:国土交通白書平成19年度版

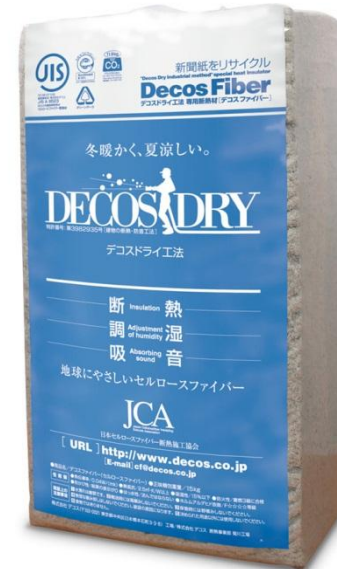


ライフサイクルフロー図(最終消費財)

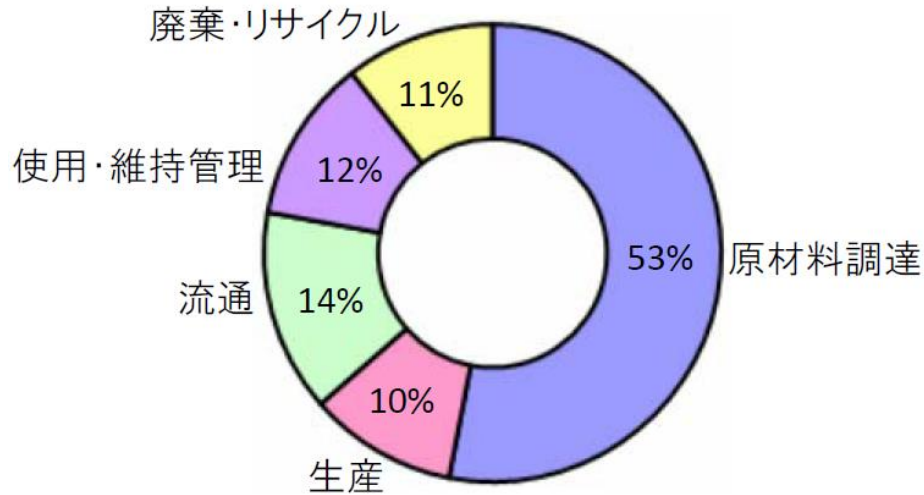


ライフサイクルフロー図 (デコスファイバー)





デコスファイバー
1袋15kg



内訳(ライフサイクル段階別)		
原材料調達段階	6.25E+00	kg-CO ₂ e
生産段階	1.11E+00	kg-CO ₂ e
流通段階	1.70E+00	kg-CO ₂ e
使用・維持管理段階	1.04E+00	kg-CO ₂ e
廃棄・リサイクル段階	1.26E+00	kg-CO ₂ e





- ・第2工場稼働に伴いデータ収集⇒CFP申請
- ・CFPを下げる取り組み
- ・環境教育でのPR



Q: 今後のCFP活用方法は？



2020年省エネ義務化

省エネ

= 断熱・住設

+

創エネ

= 太陽光発電



節水・建材リサイクルも評価

税優遇の低炭素住宅「認定基準」

国土交通省は2日、今秋にも導入する認定低炭素住宅制度について、節水や建材のリサイクルといった評価項目を認定基準に盛り込む方向で検討を始めた。

省エネ性能だけでなく、二酸化炭素(CO₂)の排出削減に寄与する項目を幅広く盛り込み、地球温暖化防止につなげる考えだ。

認定低炭素住宅は、同省が今国会に提出した都市の低炭素化促進法案で創設する制度。建築主らの申請に基づき、都道府県などが認定作業を行う。認定を受けた住宅については、一般住宅よりも住宅ローン減税の最大控除額を上積みするほか、登録免許税も軽減し、普及を後押しする。

同省は今秋からの導入を目指

国交省検討 温暖化防止 項目幅広く

しており、法案の審議内容を踏まえながら、認定基準を詰める。基準の評価項目のうち、省エネ性能については、現行の省エネ基準よりも、エネルギー消費量を1割以上削減することを求める。

また、省エネ性能以外にもCO₂の排出削減に寄与する項目を盛り込む方針で、節水や木材の利用、建材のリサイクルなどが候補となる見通し。節水により、上下水道事業におけるエネルギー消費の抑制が見込めるほか、木材の活用はCO₂の吸収源である森林の維持保全が期待できる。

リサイクル製品や再利用しやすい建材の使用を評価し、住宅分野のリサイクルを推進することも検討する。

認定低炭素住宅 省エネ性能などに優れた住宅の普及を目指す。国土交通省が今秋に導入する予定の制度。都道府県などが認定を受けた住宅は、一般住宅よりも税

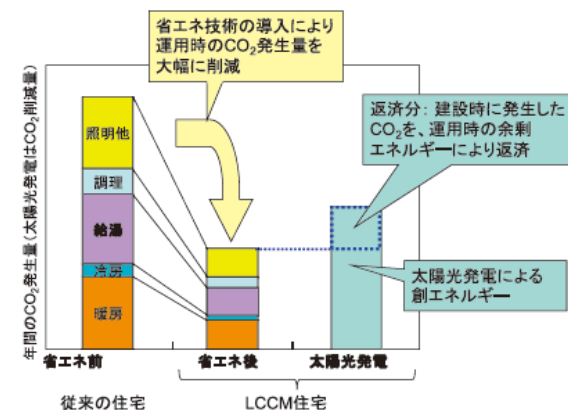
金が軽減される。郊外にある住宅は、通勤や買い物などで車を頻繁に使用し、二酸化炭素(CO₂)の排出削減効果があまり期待できないため、認定対象から除外する。

LCCM住宅 (Life Cycle Carbon Minus)

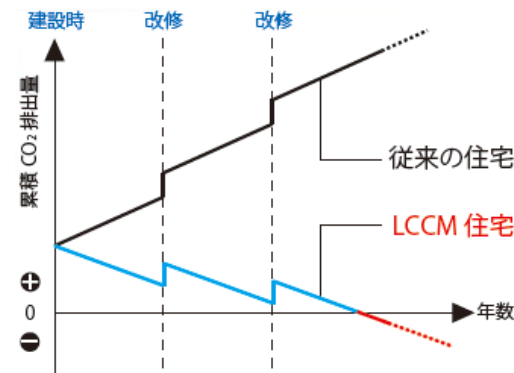


建築業界では、住宅の建設から解体までのライフサイクルトータルでCO₂排出量がマイナスになる

「ライフサイクルカーボンマイナス (LCCM) 住宅」の研究開発が平成21年度より進められています。



省CO₂建材 + パッシブデザイン + 創エネ



林野庁



公共建築物等木材利用促進法

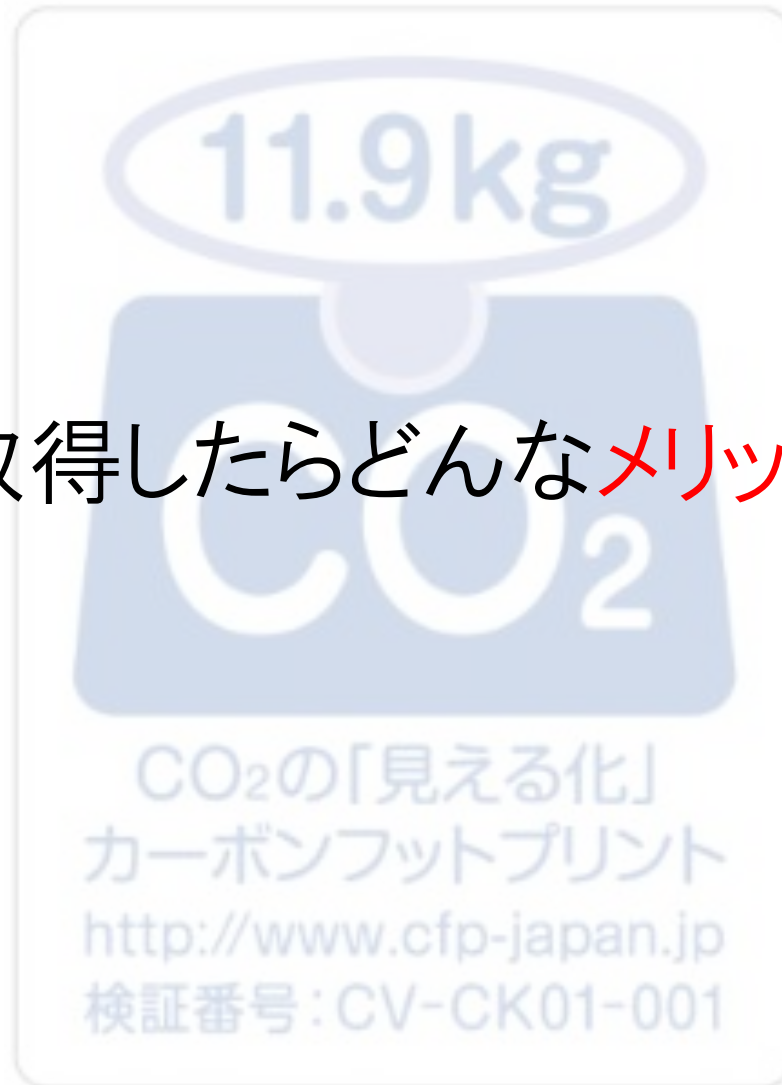
対象となる低層の公共建築物は原則として
すべて木造化を図る



デコスファイバーは、
環境省 グリーン購入法 適合製品です。

特定調達物品の公共工事、断熱材に登録されています。





Q: CFPを取得したらどんな**メリット**があるの？



①条件を得る

知識・人脈・CFPマークetc.

②条件を活かす

環境をキーワードとした
積極的なPR活動が可能となる





『チャンスを掴むには、行動を起こさなければならない。』

それがリスクを冒す理由だ。待っては何も状況は改善されない。2つの選択肢があったし、私たちはうまく働いて、良い結果をもたらせると考えた戦略を選んだ。

でも、それは想像以上に大変な作業であった。しかし、それが正しい判断であることはわかっていたし、付加価値を生み出す新たな取り組みだと信じていた。

最初から見えていたことは、CFPで他社とは違うPRが可能になること。そこから先は、走りながらさらなる展開を考え、1つ1つ実行するのみ。認定は資格と同じ。活かすも殺すも自分次第。

メリットは与えられるものではなく、自らつくりだすものである。

(社内資料より抜粋)



- ① **プレスリリース**作成・業界媒体へ送付・**パブリシティー**掲載
- ② **CFP説明資料**作成・印刷・社内教育実施
- ③ **名刺穴あけ**・配布(800部)
- ④ CFP臨時**勉強会**開催(博多・岡山・京都・東京・グループ会社)
- ⑤ **ホームページCFPコンテンツ**作成・追加
- ⑥ 建材**ポータルサイト**・**メールマガジン**広告
- ⑦ **CFPマーク**追加(風袋・パンフレット)
- ⑧ **展示会**PR(エコプロダクツ・実践報告・自社、代理店展示会)
- ⑨ **広告デザイン**変更・新規広告媒体追加
- ⑩ 資料**同梱**発送(2,540部・FC5団体)
- ⑪ 関連企業・地方自治体・官庁へ**説明**(銀行・市・県・議連)



●インナー効果

再認識
再評価

自社製品の強み
企業姿勢

●アウター効果

認知度
UP

価格
ではない
価値

差別化

話を
聞いて
もらえる



JEMAI+AT GREEN 120515 @菊川工場



FLASH

デコス
断熱材デコスファイバーが
カーボンフットプリントの認証を取得

セルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」が、カーボンフットプリントの認証を取得した。CO₂排出量が極めて少ないことが認められた。

「カーボンフットプリント」は、製品のライフサイクル（原料調達から廃棄）におけるCO₂排出量を算出する指標。デコスファイバーは、製造時のCO₂排出量が極めて少ないことが認められ、カーボンフットプリントの認証を取得した。これは、断熱材の分野では初めてのことで、製品の環境性能を証明した。デコスは、この認証取得を契機として、断熱材の分野での環境性能の向上に取り組む。また、断熱材の分野での環境性能の向上に取り組む。また、断熱材の分野での環境性能の向上に取り組む。

断熱材の分野での環境性能の向上に取り組む。また、断熱材の分野での環境性能の向上に取り組む。また、断熱材の分野での環境性能の向上に取り組む。

information

お知らせ

株 株式会社デコスが取り扱う断熱材「デコスファイバー」が、日本初、「デコスファイバー」がカーボンフットプリント認証取得

建設用断熱材は、日本初となるカーボンフットプリント(CFP)認証取得しました。CFP制度とは、政府が推進する、商品・サービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至る過程を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂量に換算し、わかりやすく表示する仕組みです。「デコスファイバー」は、新聞紙を主原料とした縮状の断熱材で、全国のデコス施工代理店を通じて、主に木造・建住系の壁・床・天井へ吹き込む「デコスドライ工法」(乾式吹き込み工法)にて施工供給されています。他の断熱材と比較して、製造時のCO₂排出量をきわめて低く、施工性の良さ、建物自体の省エネルギー性を確保しやすいことなど、特徴的。住む人の体にもやさしく、エコな断熱材とさせていただきます。



日本初、「デコスファイバー」がカーボンフットプリント認証取得

CFPマーク認定を取得したセルロースファイバー断熱材

株デコス 東京営業所
TEL 03-3516-8056

同社は、経済産業省のCFP(カーボンフットプリント)マーク使用許諾認定を取得し風袋に明記した、セルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」を発売した。この製品の特長は、製造時のCO₂排出量が極めて少ないこと、新聞紙をリサイクルした木質繊維系の建築用断熱材で、断熱・調湿・防熱・吸音などに優れていること、認定施工代理店が施工する「デコスドライ工法」により完全に躯体へ充填できる施工性の良さ、建物自体の省エネルギー性を担保しやすいのが特徴。

http://www.decoss.co.jp
(資料請求番号 71263)



セルロースファイバー断熱材

デコスファイバー



デコス
【資料請求番号 301】

建築用断熱材として国内で先駆けて経済産業省のカーボンフットプリント(CFP)マーク使用許諾認定を取得したセルロースファイバー断熱材。新聞紙をリサイクル、製造エネルギーは電気のみなので、CO₂排出量が極めて少ない。断面欠損を生じない乾式吹き込み方式の「デコスドライ工法」で施工する。

デコス www.decoss.co.jp

TEL.03-3516-8056

建築用断熱材がカーボンフットプリント認証取得

セルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」が、カーボンフットプリント(CFP)マークの使用許諾認定を取得。製造時のCO₂排出量が極めて少ない点、「デコスドライ工法」によって躯体へ完全に充填できる点、そして建物自体の省エネルギー性を担保しやすい点から、省CO₂性能を公的に証明するために経済産業省のCFP制度に検証申請を行った。今後は、「デコスファイバー」にCFPマークを表示することで、公共建築物等の木材利用促進や、低炭素社会に向けた建築業界でのCO₂排出量削減や環境に対する意識向上を図っていく。

断熱材

「デコスファイバー」

CFP認定のセルロースファイバー断熱材

建築用断熱材として日本で初めてカーボンフットプリント(CFP)マーク使用許諾認定を取得したセルロースファイバー断熱材。製造時のCO₂排出量が極めて少ないことに加え、「デコスドライ工法」により完全に躯体へ充填できる施工性の良さ、建物自体の省エネルギー性を担保しやすいのが特徴。



(株)デコス
TEL.03-3516-8056
http://www.decoss.co.jp

デコスの建築用断熱材 CFPマーク許諾認定

デコス(本社・山県下関)にて、乾式吹き込み工法、安成建設株式の建築用の「デコスドライ工法」で完全に躯体へ充填できる断熱材「デコスファイバー」が、日本で初めて経済産業省の断熱材の長尺断熱性・調からカーボンフットプリント(CFP)マーク使用許諾認定を取得した。

12年4月1日からの民間建築には電気しか使わず、製造時に稼働されている。CO₂の排出量が極めて少ない。

認定取得にあたっては、デコスファイバーの生産には電気しか使わず、製造時に稼働されている。CO₂の排出量が極めて少ない。

セルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」デコス



(後)デコスのセルロースファイバー断熱材「デコスファイバー」は新聞古紙からリサイクル生産される環境配慮型断熱材。製造時のCO₂排出量が極めて少ないことに加え、「デコスドライ工法」により完全に躯体へ充填できる施工性の良さ、建物自体の省エネルギー性を担保しやすいことなど特徴。建築用断熱材として日本ではじめてカーボンフットプリント(CFP)マーク使用許諾認定を取得している。

用取の状況に応じて半分程度減らしたりすることで、結露を防ぐ。



(株)デコス
TEL.03-3516-8056
http://www.decoss.co.jp

セルロースファイバー

新聞紙を再利用 住宅を長寿命化

セルロースファイバーは、新聞紙を再利用した断熱材。断熱性能が高く、調湿性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。

新聞紙を再利用 住宅を長寿命化

断熱性能が高く、調湿性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。

断熱性能が高く、調湿性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。

断熱性能が高く、調湿性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。また、省エネルギー性能に優れている。



●CFP認定商品『セルロースファイバー断熱材』

地域型住宅ブランド化事業(評価)



地域型住宅ブランド化事業 TOP

1 補助事業の概要

2 募集要領・応募様式

3 Q&A

4 参考資料

5 採択の結果

交付申請書等の
入手先・提出先・問合せ先

平成24年度地域型住宅ブランド化事業

本事業は、地域工務店等とこれらを取り巻く関連事業者（地域材等資材供給から設計・施工まで）が緊密な連携体制を構築し、地域資源を活用して地域の気候・風土にあった良質で特徴的な「地域型住宅」の供給に取り組むことを支援し、地域における木造住宅生産・維持管理体制の強化を図り、地域経済の活性化及び持続的発展、地域の住文化の継承及び街並みの維持・保全、木材自給率の向上による森林・林業の再生等に寄与することを目的としています。このため、本事業では、中小住宅生産者等が他の中小住宅生産者や木材供給、建材流通等の関連事業者とともに構築したグループを公募し、グループ毎に定められた共通ルール等の取り組みが良好なものを国土交通省が採択し、採択されたグループに所属する中小住宅生産者等が当該共通ルール等に基づき木造の長期優良住宅の建設を行う場合、その費用の一部を予算の範囲内において補助します。



銀行の「環境格付け融資」の武器に

● 優遇金利

やまぐち経済

山銀の環境格付け融資

安成工務店対象に

山口銀行(福田浩一頭取)は2日、下関市綾羅木新町の総合建築業「安成工務店」(安成信次社長)を、同行が制定する環境格付け融資の対象にしたと発表した。同社が手掛ける商業施設建設のための資金を融資利率を優遇する形で、9月28日に貸し出しを行った。同行独自の環境格付け評価モデルによる4段階評価に応じて事業者の環境に対する取り組みを評価し、融資利率を段階的に優遇する試みて、同社への適用が初めて。地球温暖化に配慮した建築設計や建築工法、従来からの環境に対する会社の取り組み実績が評価され、上位2番目に当たる「A」(十分)に位置づけられた。具体的な利率や融資額は公表していない。同行は「環境格付け融資の取り扱いなどを通じて、事業者の環境に配慮した経営を金融面で今後とも応援していく」としている。

『 山 口 新 聞 』
平成 24 年 10 月 3 日 (水)



● Making



CFPプログラム
カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム

JAPANESE ENGLISH

新着情報 > FAQ > お問い合わせ > サイトマップ

HOME CFPとは CFPプログラムについて CFPプログラムへの参加 CFP対象製品 CFP関連規程

CFPプログラム はじまります
CO₂の見える化で新しい社会への一歩を

eco moyo vol.1
特集 Interview
近日リリース予定

CFPプログラム 概要と参加方法

製品をお探しの方はこちら CFP検証番号検索

CFPとは、原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまで排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、「見える化」(表示)する仕組みです。

CFP検証に合格し、CFP宣言認定製品として認められた製品を検索することができます。

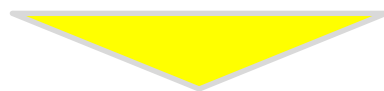
facebook いいね!
カーボンフットプリントコミュニティ

twitter フォロワー
CFP関連の話題をゆる〜くツイートします

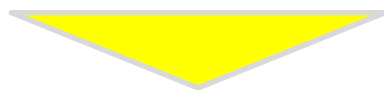


- CFPに取り組むということ = **考え方を伝えるツールを得ること**

自社製品の強み・企業姿勢を再認識



PRでモチベーションUPと認知度UP



勉強会＋販促活用⇒低炭素社会へ貢献



条件を得て、自社のメリットをつくりだすこと

マークは
使い方





No Attack No Chance!

<http://www.decos.co.jp>

